

ハローホスピタル

Hello Hospital

病院の理念

職員が働きたい、働いてよかった、患者さんがかかりたい、かかってよかった
地域が在って欲しい、在るので安心といえる医療をおこなう



トピックス

- AED（自動体外式除細動器）講習会
- 高額療養費制度について
- 新任医師紹介
- 病院からのお知らせ
- 救急受け入れの充実に向けて
- 旭丘診療所の紹介
- お仕事紹介
- 患者さんの声にお応えします



公益財団法人 東京都医療保健協会

練馬総合病院

<https://www.nerima-hosp.or.jp>

特集

◆AED(自動体外式除細動器)講習会

安全管理室 安藤 敦子・北野 和彦



旭丘東町会の皆さま(総勢29名)を対象として、AED講習会を3日間に分け実施しました。心停止時における迅速な対応を学び、地域全体での応急処置能力向上を目指すものです。

講習会では、心肺蘇生法(CPR)の基本技術やAEDの使用方法について、実践的に学ぶことができます。参加者の皆さまには、当院職員からの指導のもと、初動対応やAEDの正しい使い方を体験し、実際に機器を操作しながら理解を深めていただきました。

「AEDの仕組みから取り扱い注意事項、動画による使用手順を予め見ていたので、スムーズに心臓マッサージの訓練に進め、分かり易く大変よかった」、「避難訓練などで実施する講習会とは別物でした」、「胸骨圧迫訓練評価システムで効果測定を画面上で表示されるのを見るのが初めてで、とても参考になった」といった声が、講習会後に参加者の皆さまより寄せられました。



今回の講習を通して、いざという時に一歩踏み出す勇気を持っていただける機会となったのであれば嬉しく存じます。今後も、このような講習会を定期的開催し、命を守る知識と勇気を皆で一緒に身に付け、地域の安全を守るため皆さまと協力していきたいと考えております。

◆高額療養費制度について

医事課 石川 絹代

高額療養費制度とは、医療機関や薬局で支払った額が、ひと月(月初から月末まで)で上限額を超えた場合にその超えた金額を支給する制度です。(※差額ベッド代や食事負担分等は対象外です。)

ご加入の医療保険から「**限度額適用認定証**」の交付を受け、医療機関窓口にて提示していただくことで限度額までの窓口負担とすることができます。「**限度額適用認定証**」の交付をうけていなくても、後日、上限額を超えて支払った額を払い戻すことは可能です。

また、マイナ保険証の登録を行っている場合、病院窓口にてオンライン資格確認を行うことにより「**限度額適用認定証**」の提示が不要になります。(※その他減額措置があります。)

毎月の上限額は、加入者が70歳以上かどうかや、加入者の所得水準によって分けられます。また、70歳以上の方には、外来だけの上限額も設けられています。

<70歳以上の方の上限額(平成30年8月診療分から)>

適用区分		外来(個人ごと)	ひと月の上限額(世帯ごと)
現役並み	年収約1,160万円～ 標準83万円以上/課税所得690万円以上	252,600円+(医療費-842,000)×1%	
	年収約770万円～約1,160万円 標準53万円以上/課税所得380万円以上	167,400円+(医療費-558,000)×1%	
	年収約370万円～約770万円 標準26万円以上/課税所得145万円以上	80,100円+(医療費-267,000)×1%	
	一般		
一般	年収156万円～約370万円 標準26万円以下 課税所得145万円未満等	18,000円 (年14万4千円)	57,600円
	II 住民税非課税世帯		
非課税等	I 住民税非課税世帯 (年金収入80万円以下など)	8,000円	24,600円
			15,000円

注 1つの医療機関等での自己負担(院外処方代を含みます。)では上限額を超えないときでも、同じ月の別の医療機関等での自己負担を合算することができます。この合算額が上限額を超えれば、高額療養費の支給対象となります。

毎月の上限額は、加入者が70歳以上かどうかや、加入者の所得水準によって分けられます。

<69歳以下の方の上限額>

適用区分		ひと月の上限額(世帯ごと)
ア	年収約1,160万円～ 健保:標準83万円以上 国保:旧ただし書き所得901万円超	252,600円+(医療費-842,000)×1%
	イ	
イ	年収約770万円～約1,160万円 健保:標準53万～79万円 国保:旧ただし書き所得600万～901万円	167,400円+(医療費-558,000)×1%
	ウ	
ウ	年収約370万円～約770万円 健保:標準26万～50万円 国保:旧ただし書き所得210万～600万円	80,100円+(医療費-267,000)×1%
	エ	
エ	～年収約370万円 健保:標準26万円以下 国保:旧ただし書き所得210万円以下	57,600円
	オ	
オ		住民税非課税者 35,400円

注 1つの医療機関等での自己負担(院外処方代を含みます。)では上限額を超えないときでも、同じ月の別の医療機関等での自己負担(69歳以下の方は2万1千円以上であることが必要です。)を合算することができます。この合算額が上限額を超えれば、高額療養費の支給対象となります。

新任医師紹介

よろしくお願いいたします

1月入職



皮膚科医師
内川 理紗
(ウチカワ リサ)

3月入職



脳外科医師
虎澤 誠英
(トラザワ セイエイ)



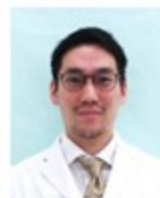
4月入職



整形外科医師
小川 奈尚
(オガワ ナナオ)



整形外科医師
奥田 峻
(オクダ シュン)



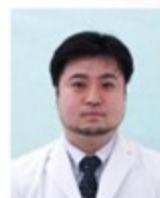
泌尿器科医師
藤原 信之介
(フジワラ シンノスケ)



皮膚科医師
八代 聖
(ヤシロ キヨシ)



耳鼻科医師
町井 衣保
(マチイ キヌホ)



耳鼻科医師
持田 峻
(モチダ シュン)



麻酔科医師
安心院 純子
(アジミ ジュンコ)



研修医
関本 菜月
(セキモト ナツキ)



研修医
加原 怜於
(カハラ レオ)



研修医
小玉 望徳
(コダマ ミノリ)



研修医
関谷 美以沙
(セキヤ ミイサ)

病院からのお知らせ

患者さんの身体拘束を最小限にする取り組み

外科医師 今井 俊一

ご家族が入院中、「ベルトで体を固定されている」、「ミトンを装着している」などの光景をご覧になったことはありませんか？これは「身体拘束」と呼ばれる医療上の措置です。

入院患者さんは普段と異なる環境で、点滴や酸素マスク、術後のチューブなどを装着して生活します。家族との面会も限られ、「せん妄」という混乱状態が生じることもあります。このような状況では、無意識に立ち上がろうとして医療機器のチューブが抜けたり、転倒して怪我をしったりする危険があります。身体拘束は、こうした重大なリスクを防ぐためにやむを得ない場合のみ実施されるものです。

練馬総合病院では、令和6年6月より多職種からなる「身体的拘束最小化チーム」を設立し、入院患者さんの身体拘束を最小化する取り組みを行っています。私たちは「拘束をしなくても安全を確保できる方法」を常に模索し、実践しています。将来的には、ご家族のご協力を得ながら、当院での身体拘束をできる限りゼロに近づけることを目指しています。

「身体的拘束最小化チーム」は、患者さんの「安全」と「尊厳」の両方を守るため、日々活動してまいります。



耳鼻科本格始動

耳鼻科医師 町井 衣保



耳鼻咽喉科では、2024年6月から外来を開設し半年以上が経過いたしました。その間に、入院での加療が必要な疾患にも対応できるよう、たくさんの方々にご協力いただき体制を整えて参りました。

2025年4月から常勤医2名で、外来診察に加え、入院での加療にも対応いたします。

耳鼻咽喉科領域には多くの疾患がありますが、一人一人にあった治療をご提案できるよう努めて参ります。



引き続き、みみ・はな・のど に関してお困りの症状がありましたら、お気軽にご相談ください。

脳神経外科診療体制がさらに強化されます。

脳外科医師 武田 康寛

- ★ 脳神経外科では、2024年4月に武田が赴任し、脳卒中の救急診療および開頭手術・脳血管内手術を再開しました。
- ★ 非常に多くの患者さんに当院を利用して頂いており、この度、2025年3月に新たに虎澤誠英医師が赴任され、更に体制が強化されます。
- ★ 武田・虎澤ともに脳卒中専門医かつ脳血管内治療専門医であります。



★ 患者さん一人ひとりに応じて、最も良い治療を提供できるよう励んでまいります。

MQI活動キックオフ

(MQI活動:医療の質向上活動)

推進委員会委員長 東 宏一郎

本年度のテーマは、
「新たな挑戦への第一歩を共に踏み出そう」
です。節目の第30回記念大会になります。

地域に求められる医療の実践を第一に掲げている当院ですが、受け身では決してなく、ニーズを理解したうえで、チャレンジを続け、積極的に情報発信を行い、皆さんが働きたいと思える病院をめざしています。

各部署で困っていること・改善したいこと、しかし自部署だけでは改善が難しいことをMQIを利用して改善します。他部署との交流、自身の成長を含め必ず実りある活動なと思います！



今年は第30回の記念大会!! もっと盛大?

「地域連携パス検討会」 開催報告 地域連携室

大腿骨頸部骨折などの手術後に以前と同様の生活に復帰するために、早期にリハビリテーションを開始することは重要です。当院は急性期病院であり、長期間のリハビリのために入院を継続することは難しく、退院後もリハビリが必要な患者さんが継続できるように回復期リハビリテーション病棟と連携しています。

今回、回復期リハビリテーション病院11病院、介護老人保健施設1施設の計37名の医師、看護師、医療ソーシャルワーカー、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、事務の方々にご参加いただきました。

第1回(R6.5.28)に続き
今回、2回目の開催



救急受け入れの充実に向けて

看護部 外来看護師 田村美紀

練馬総合病院は、専門外来や各センターを含む診療部門と、24時間体制で救急患者の診療を行う救急外来があります。

地域の人々の急な病気やケガへの対応に力を入れています。

▼救急病院等を定める省令第2条第1項の規定に基づく救急病院

▼東京都指定二次救急医療機関

としての役割を担い、令和6年10月より「断らない救急」を目指し、これまで以上に救急車や救急患者さんの受け入れを強化しています。以前よりも1日あたり平均3台多く救急車を受け入れるようになりました。

脳カテーテル血管手術の開始に伴い、脳外科救急受け入れに看護師、医師、放射線技師等の話し合いや、勉強会の開催を行ってきました。麻酔科医師・手術室看護師・検査技師・放射線技師の夜間業務の拡大もあり、夜間のカテーテル手術にも対応できるようになりました。

各職種が一丸となり、チームで患者さんを受け入れています。例えば、夜間の患者さんのレントゲンを撮影をするときは、放射線技師が救急外来まで患者さんを迎えに来たり、検査技師が救急外来に採血にきてくれたりなど、効率的となり、より多くの救急車の受け入れや緊急患者さんの受診対応ができるようになりました。



各科・その他お知らせ

練馬総合病院 旭丘診療所の紹介

小児科医師 佐々木 悟郎

診療所
ホームページ



当診療所は、小児科と漢方内科の外来施設として、令和2年10月に開院しました。それまで練馬総合病院で行われていた診療を引き継いでおりますので、受診の際は直接診療所にお越しください。

小児科

新生児から中学生まで
一般診療、予防接種、健診など
お子さまの急な体調不良にも対応します。
各種感染症の迅速検査が可能です。
(入院設備はありませんのでご了承ください)

漢方内科

成人(金曜日午前午後のみ、完全予約制)
漢方医学独自の診察、病態評価、処方など
基礎疾患のある方も対応しております。
(検査歴や治療歴をお伝え下さい)



小児科・漢方内科とも、受診希望の際は
お電話でご連絡ください
(紹介状なしでも、選定療養費は頂いておりません)

千川通り沿い
セブンイレブン並び
練馬総合病院から徒歩2分
☎ 03-5982-8022 (直通)



お仕事紹介

★医師事務作業補助室

わたくしたち医師事務作業補助室の職員は、院内の医師事務作業補助業務の中の一部を担っており、主な業務は文書作成、返書の送付、予約センターでの患者さんの対応になります。

文書作成は、診断書、傷病手当金請求書、訪問看護指示書、介護保険主治医意見書などの書類を作成しております(作成後に必ず医師の承認を得ます)。返書とは、紹介状をお持ちになり受診された患者さんが、当院を受診されたこと、またその診察結果を紹介元の医師に報告する文書になり、その文書を送付しております。予約センターでは、医師よりCT・MRI・エコーのオーダーが出た際に、患者さんに検査日時を確認し、注意事項を説明しております。この業務を医師事務作業補助者がおこなうことにより、医師は外来で一人でも多くの患者さんを診察することが可能になります。



医師事務作業補助室職員



医師事務作業補助室の様子

患者さんの声にお応えします

患者満足向上委員会

■「患者さんの声」に寄せられたご意見から抜粋して掲載いたします。

Q.健診で聴力検査を受けた際、検査ボックスで検査を行いました。外の声やアナウンス？の音が内まで聞こえてきて検査の音を聞くのに判断が難しかったです。

その後、心電図を受けましたが、人の声やアナウンスの音がとても大きく、もう少し検査を受ける人に対して配慮してほしいと思いました。



A.検査科より

聴力検査ボックス(防音機能付きボックス)は生理機能検査室に設置していますが、他の生理機能検査も同時に行われており、静寂な環境とはいえません。聴力検査を実施する際はこの点に配慮し、信号音を出す際は可能な限り静かな環境にするよう配慮致します。また、聴力検査ボックスの設置場所の移動も考えているため、移動に伴い改善される見込みです。

今回のご指摘を踏まえ、聴力検査実施の際の環境や、その他生理機能検査を実施する際のお声かけに対する受診者様への配慮を徹底するよう指導いたします。

■患者さんから寄せられた感謝の言葉も掲載いたします。

●カルテではなく患者の顔を見て、話も聞いて丁寧に進めて下さるので、入院までの受診回数は少なかったですが、早い段階で信頼できる先生だと思いました。(産婦人科医師へのコメント)

●術前・術後も不安に思った事に対してテキパキと親身に対応して頂き、安心してケアを任せられる安心感がありました。(病棟看護師へのコメント)

●リハビリ療法士さんに適切なプログラムを構築していただき、お陰様で順調に回復しました。また、状況に応じて、適度にこちらに合わせて対応頂いた。(リハビリテーション科へのコメント)



今後も皆様のご意見を参考に、
より良い病院づくりを目指します

<次号> Vol.136 2025年7月発行

患者満足向上委員会・広報委員会では当院に対する

皆様からのご意見・ご質問などを“ご意見箱”や“E-mail”などでお待ちしております

ご意見箱設置場所
連絡先

各階談話室、玄関入口総合案内

Tel : 03-5988-2200 (代表)

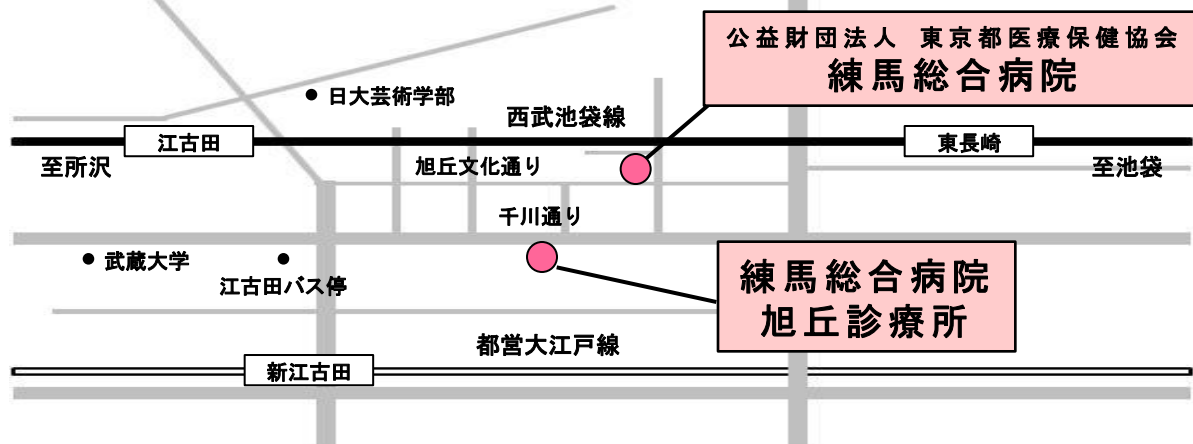
Fax : 03-5988-2250

E-mail : info@nerima-hosp.or.jp

<https://www.nerima-hosp.or.jp>



当院へのご案内



●練馬総合病院

〒176-8530 東京都練馬区旭丘1-24-1

・診療 問い合わせ 03-5988-2290
 ・各種ドック、健診 03-5988-2246
 ・その他問い合わせ 03-5988-2200 (代表)
 FAX 03-5988-2250

●旭丘診療所

〒176-0005 東京都練馬区旭丘1-32-9
 第2MEマンション1階

・TEL 03-5982-8022
 ・FAX 03-5982-8045

交通：電車 ■西武池袋線 江古田駅南口 徒歩7分
 東長崎駅南口 徒歩10分
 ■地下鉄有楽町線 小竹向原駅④出口 徒歩15分
 ■都営大江戸線 新江古田駅 徒歩10分

【診療科目】

●練馬総合病院

内科／外科／整形外科／脳外科／皮膚科／泌尿器科／産婦人科
 眼科／耳鼻咽喉科／循環器内科／リハビリテーション科／救急科
 健康医学センター(各種ドック・健診)／内視鏡センター／糖尿病センター
 結石センター／スポーツ医学センター／婦人科低侵襲センター
 脊椎脊髄センター

●旭丘診療所

小児科／漢方内科

【受付時間】

練馬総合病院 8:00～11:00 12:00～16:00
 旭丘診療所 8:30～11:30 13:00～16:00
 (第2・第4土曜日のみ 9:30～11:30)

【休診日】

土曜日／日曜日／祝日／年末年始

【救急受付】

24時間・当直医常時3名体制 (内科／外科系／産婦人科)

【面会】

面会可能時間 平日、土日祝 15:00～17:30
 面会時間 15分
 面会人数 3名まで(ご家族かつ18歳以上の方)